



## 環境ボランティア活動

「環境ボランティア活動」は、環境問題について正しい知識を持ち、生徒一人一人が自らの問題としてとらえ、科学的に考察できるようになれることを目標とします。現在も実施している「足尾植樹緑化」や「ペットボトルキャップ回収」などの活動を継続し、さらに生徒の意識を向上させる活動を発展的に展開していきます。

【対象】全学年

6月18日(土) SSH『足尾植樹緑化ボランティア』に参加しました。

日本が直面した公害問題の1つに栃木県で起こった「足尾鉍毒事件」があります。長年にわたる銅の採掘や精錬による有毒ガスのために、現在も山々は荒涼たる風景のままです。本校は、平成15年より日光市足尾松木溪谷付近の植樹活動に参加してきましたが、今年は、SSH活動の一環として英進部1年生を対象にして、資料等を使っての事前学習や宇都宮大学農学部小金澤正昭教授の講義、現地での環境調査など科学的な知見も含め実施しました。事前に学習したことがそのまま活かされ、科学的に考察でき、さらにいろいろな立場の人の意見の違いや苦労についても深く考えさせられました。



ハゲ山となった一部です。種子を含んだ粘土を吹付け、ネットで覆い定着させている所が多く見られました。



土砂が流失しないように、柵で段状にしてから植樹します。大掛かりな作業です。頂上付近にはトロッコで資材を運びます。



今年は「緑を守る会」の方から植樹の仕方を詳しく学びました。ボランティア精神旺盛で、皆真剣に聞いていました。



シカの防護柵に囲まれた中に植樹しました。冬は、雪の圧力で柵は倒れてしまいます。空中散布で自生した黄色いエニシダが山一面に咲いていました。  
エニシダの繁殖力が強く他の植物を寄せ付けられないようです。



雨上がりで足場が悪く、掘り始めるとすぐに大きな石が現れます。30cm程掘り、腐葉土をレジ袋半分入れます。植樹には腐葉土作りも不可欠です。  
腐葉土の成分や関係する微生物も研究の余地あり。



今回は、コナラを60本植樹しました。コナラは秋にはドングリを熟します。根を発達させるので土砂崩れの防止にも役立ちます。我々がコナラを選んだ理由はどんなことからか予想できますか？